

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2002-105150(P2002-105150A)

【公開日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【出願番号】特願2001-219344(P2001-219344)

【国際特許分類】

C 08 F 291/02	(2006.01)
C 08 J 3/20	(2006.01)
C 08 L 51/00	(2006.01)
C 08 L 57/00	(2006.01)

【F I】

C 08 F 291/02	
C 08 J 3/20	C E R Z
C 08 L 51/00	
C 08 L 57/00	

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ゴム質重合体により強化されたスチレン系共重合体の樹脂組成物において、該樹脂組成物中に含まれるアセトン可溶性樹脂成分は、芳香族ビニル系単量体(a1)5～70重量%、不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体(a2)30～95重量%、シアン化ビニル系単量体(a3)0～50重量%及びこれらと共に重合可能な他の単量体(a4)0～50重量%からなる単量体組成を有するものであり、かつ、アセトン可溶性樹脂成分の酸価が0.01～1mgKOH/gであることを特徴とするゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項2】アセトン可溶性樹脂成分を構成する芳香族ビニル系単量体(a1)と不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体(a2)との重量比( $\text{ST} / \text{MMA}$ )の組成分布において、その重量比( $\text{ST} / \text{MMA}$ )の平均値の0.75～1.2倍の範囲内に、アセトン可溶性樹脂成分の80重量%以上の部分が含まれる請求項1記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項3】ゴム質重合体の屈折率とアセトン可溶性樹脂成分の屈折率との差が0.03以内である請求項1又は2に記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項4】ビニル系単量体混合物(a)を共重合してなる共重合体(A)10～95重量部、および、ゴム質重合体(b)の存在下にビニル系単量体混合物(c)をグラフト重合してなるゴム質含有グラフト共重合体(B)90～5重量部からなる請求項1～3のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項5】ビニル系単量体混合物(a)および/またはビニル系単量体混合物(c)の酸価が0.01mgKOH/g未満である請求項4記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項6】ビニル系単量体混合物(a)及びビニル系単量体混合物(c)が、芳香族ビニル系単量体(a1)5～70重量%、不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体(a2)30～95重量%、シアン化ビニル系単量体(a3)0～50重量%およびこれらと

共重合可能な他の単量体( a 4 ) 0 ~ 50 重量%からなり、かつ、不飽和カルボン酸系単量体(但し不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体( a 2 )を除く)( a 5 )を実質的に含有しない単量体混合物である請求項4または5記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項7】共重合体( A )とゴム質含有グラフト共重合体( B )とを溶融混合することにより請求項4 ~ 6のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物を製造する方法において、共重合体( A )との混合時に、ゴム質含有グラフト共重合体( B )が乳化剤を0.1 ~ 5 重量%含有することを特徴とするゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項8】共重合体( A )との混合時に、ゴム質含有グラフト共重合体( B )の水分率が0.1 重量%以上、5 重量%未満である請求項7記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項9】ビニル系単量体混合物( a )を連続塊状重合または連続溶液重合することにより共重合体( A )を製造し、続いて溶融状態の共重合体( A )に、ゴム質含有グラフト共重合体( B )を添加し、溶融混合する方法によりゴム強化スチレン系樹脂組成物を連続的に製造する請求項7又は8記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項10】ビニル系単量体混合物( a )の重合に続いて脱モノマーを行うことにより共重合体( A )を製造する工程における脱モノマー工程の途中もしくは脱モノマー工程の後、溶融状態の共重合体( A )に、ゴム質含有グラフト共重合体( B )を添加する請求項9記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項11】ゴム質含有グラフト共重合体( B )が添加される時の共重合体( A )中の残存モノマー量が10 重量%以下である請求項7 ~ 10のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項12】共重合体( A )に添加される時のゴム質含有グラフト共重合体( B )が半溶融もしくは溶融状態である請求項8 ~ 12のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項13】共重合体( A )とゴム質含有グラフト共重合体( B )を混合し溶融混練する工程の途中で、水を、ゴム強化スチレン系透明樹脂組成物に対して0.1 ~ 5 重量%の量添加する請求項7 ~ 12のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。